



TOKAS Project Vol. 7

鳥がさえずり、山は動く

— 都市の周縁が持つ可能性を問う展覧会

TOKAS Project は、国際的な交流を促進し、多文化的な視点でアートや社会など多様なテーマについて思考することを目的に、トーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）が開催しているプログラムです。

7回目となる本展では、2023年にTOKASのキュレーター招聘プログラムに参加したアヨス・プルウォアジを共同キュレーターに迎え、インドネシアと日本のアーティストの作品や彼らの活動を紹介します。

展覧会概要

展覧会名： TOKAS Project Vol. 7「鳥がさえずり、山は動く」

出展作家： 尾花賢一、プレワンガン・スタジオ、ランガス・ウェンギ

共同キュレーター： アヨス・プルウォアジ

会期： 2024年10月5日（土）～11月10日（日）

会場： トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

開館時間： 11:00 - 19:00（最終入場は30分前まで）

休館日： 月曜日（10月14日、11月4日は開館）、10月15日（火）、11月5日（火）

入場料： 無料

主催： 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース

後援： 駐日インドネシア共和国大使館

ウェブサイト： <https://www.tokyoartsandspace.jp/archive/exhibition/2024/20241005-7263.html>

< お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

広報担当： 舟橋、市川、武智

TEL：03-5245-1142 FAX：03-5245-1154 E-mail： press@tokyoartsandspace.jp

本展について

日本ではパンデミック後、首都圏への人口流入が拡大し、東京の一極集中が再び強まりを見せています。一方インドネシアでは、交通渋滞や大気汚染、地盤沈下などを理由に、2024年から段階的に首都をジャカルタから約2000km離れたカリマンタン島東部に位置するヌサンタラへ移転しようとしています。都市はさまざまな権力が集中し、多くの人や物が集まる場所として人々を魅了してきました。しかし現在、世界各地でその綻びが生じていることは否めません。

本展では、インドネシアと日本の社会的変化を端緒として、都市を離れ地方で活動続けるアーティストに焦点を当てます。地球の生態系の中で重要な役割を担っている鳥のように、地域に根差した活動をとおして生み出される彼らの作品は、さまざまな場所で種を芽吹かせ、山をも動かすような力強さを見せてくれるでしょう。



関連イベント

アーティスト・トーク

日時：2024年10月5日（土）15:00 - 16:30

出演：尾花賢一、プレワンガン・スタジオ、ランガス・ウェンギ、アヨス・プルウォアジ

日英逐次通訳あり

トーク・イベント「インドネシアに渡った女性たち」

日時：2024年10月14日（月・祝）15:00 - 16:00

出演：尾花賢一、本間メイ（アーティスト）

※その他イベントを開催予定。最新情報はTOKASウェブサイトで発表します。

※日程および参加アーティストは変更となる場合があります。

参加アーティスト／広報用画像 ※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

尾花 賢一

OBANA Kenichi

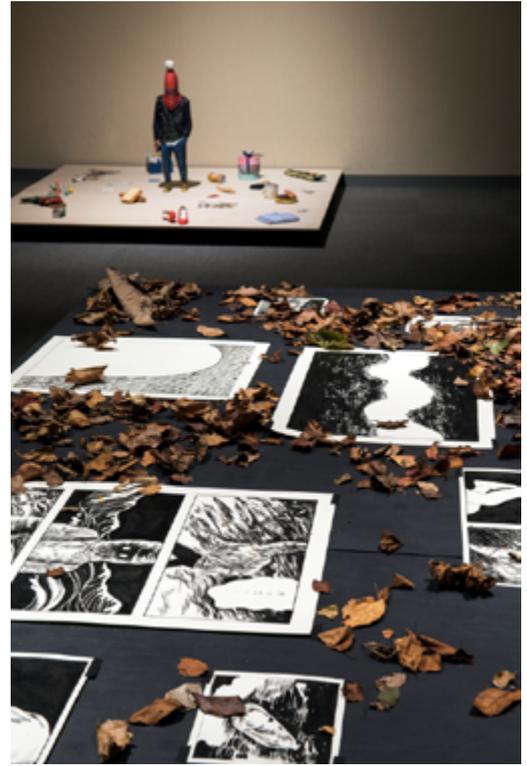
人々の営みや伝承、土地の風景や歴史にもとづく作品を制作する尾花は、江戸時代に長崎で生まれた物語『じゃがたらお春』をモチーフにした新作インスタレーション《遠く、眺める / じゃがたらお春の物語》を発表する。キリシタンの取り締まりが強化するなか、混血であることを理由にジャカルタに追放されたお春は、これまでさまざまなメディアで「悲劇の人」として描かれてきた。しかし近年の研究で、お春はジャカルタで商売に成功し、自らの意志で人生を切り拓いていったことが分かってきた。

ドローイングや彫刻作品で構成される本作では、ジャカルタに渡ったことで封建的な支配から解放されたお春の物語をとおして、日本社会における制度や価値観を問い直す。

[プロフィール]

1981年群馬県生まれ。秋田県を拠点に活動。2006年筑波大学大学院芸術研究科油絵専攻修了。

主な展覧会に「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2024」（まつだい郷土資料館、十日町、新潟）、「多摩川ジオントグラフィー」（調布市文化会館たづくり、東京、2024）、「国際芸術祭あいち 2022」、「VOCA 展 2021 現代美術の展望—新しい平面の作家たち—」（上野の森美術館、東京）、「表現の生態系」（アーツ前橋、2019）など。主な受賞歴に「上毛芸術文化賞」（2022）、「VOCA 賞」（2021）、「Tokyo Midtown Award 優秀賞」（2015）など。



1. 《森の奥、そして》2018
ワトソン紙にインク、ジェルトン
撮影：草薙 裕

プレワンガン・スタジオ

Prewangan Studio

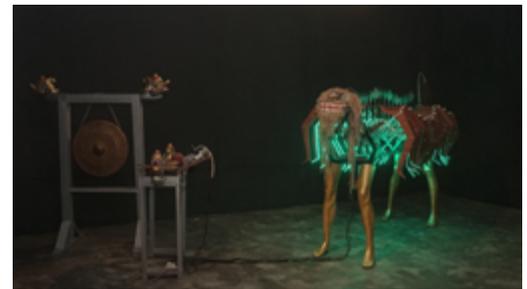
プレワンガン・スタジオが拠点を置くインドネシアのトゥバンは、東ジャワ州の北海岸に位置し、セメント工場や石炭火力発電所、インドネシア国営石油会社プルタミナが運営する施設など、大企業の工場に囲まれている。また、この地域では海の支配者である「デウィ・ランジャール」の神話が伝わり、富を得ることを目的にマントラを唱えながら黒色の供物を海に投げ入れる儀式が行われている。

本展では、トゥバンの海に浮かぶ石炭運搬船とこの儀式に類似する「黒の代償を伴う富の追求」から着想し、伝統的な供物台を再解釈したインスタレーション《ペスギハン・デヘット・ケムクス》を発表する。立体作品を中心に映像やサウンドを組み合わせ、「デウィ・ランジャール」の儀式をとおして現代の産業活動を考察する。

[プロフィール]

インドネシア第2の都市スラバヤから西に約100km、東ジャワ州の北海岸に位置するトゥバンを拠点に活動。DIY精神でモノや製品を創造、開発、実験することに重点を置く、市民主導のオープンで協力的なコミュニティ。

メンバー：インドラ・プラヨギ、シャイフル・アフマド・クルディアントロ、プンタス・ブラドト、イルマル・ヤキン、アディアンサ・トアト・サブトロ、モッチ・リコ・プラムディア



2. 《Grumbul Pangkalan Dimar》2022
木、鉄、アルミニウム、レジン、ガムラン、
アルドゥイーン、電子部品



3. 《Dengung Lohjinawi》2023

ランガス・ウェンギ Rangas Wengi

ランガス・ウェンギが活動を行うインドネシアのパティ県スコリロに伝わる芸能をリサーチし、「タユブ」というダンスパフォーマンスに着目。タユブには「調和を保つために組織された」という意味があり、スコリロの民族芸能の証人であるムバ・マディがよく参加していたという。

本展では、治安情勢が不安定なパティの現代社会に警鐘を鳴らすように、他者を尊重し繁栄を願うタユブの規律を取り入れた立体作品を発表する。

[プロフィール]

2021年よりインドネシアの中央ジャワ州パティにある約9万人が住む農村部スコリロを拠点に活動。現代アートと伝統的な美学を融合させながら、農村の日常生活にもとづいた作品を制作するアート・コレクティブ。

メンバー：バグスサティア、ヌルル・ドゥウィ、イクバル・ハビッド 他



4. 《Naga Bencana》 2023



5. 「Unstable Nature」 2022

共同キュレーター

アヨス・プルウォアジ Ayos PURWOAJI

歴史、建築、視覚芸術の分野で横断的に活動するキュレーター。2015年から多くの展覧会やキュレーション・プロジェクトに携わる。ヴァナキュラー・アーカイビング（その土地固有の文化の収集・保存）と集合的記憶の実践に関する活動も行う。スラバヤ現代遺産協議会（SCHC）を共同設立し、文化遺産に関する批評的な言説を研究する。

[プロフィール]

1987年ジェンベル（インドネシア）生まれ。スラバヤを拠点に活動。2013年ITSスラバヤ工科大学産業プロダクトデザイン学科卒業。

TOKASの「キュレーター招聘プログラム」（2023）参加。東ジャワ・ピエンナーレ（2023）ディレクター。

主なキュレーションに「Jakarta International Photo Festival」（Blok M、ジャカルタ、2022）、「目に見えないものとの交渉」（九州芸文館、福岡、2022）、「ピエンナーレ ジョグジャ XVI」（ジョグジャ国立博物館、インドネシア、2021）など。

TOKAS Project Vol. 7 「鳥がさえずり、山は動く」

広報用画像申込書

Email : **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください。下記の URL からダウンロードも可能です。)

1 2 3 4 5 ウェブバナー

<https://www.tokyoartsandspace.jp/press/form/8>

掲載媒体名 (特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他 ()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送 (月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

E-mail (画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

- ・ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただき目的のみ利用させていただきます。
- ・お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

- ・画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。
- ・画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1～2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。
- ・作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。
- ・提供した画像データは、使用後速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Webサイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。
- ・情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。
- ・取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Webサイトの場合は、掲載時にURLをお知らせください。

< お問い合わせ > ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース (公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 舟橋、市川、武智

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: press@tokyoartsandspace.jp